

PRP・PRFの説明書

この用紙では上記の施術について説明します。不明な点は医師、またはスタッフに確認してください。お伝えする内容、記載された内容は一般的なもので個人差があります。

▶安全に施術を受けていただくために



既往歴、現病歴、手術歴、使用中・服用中のお薬について、妊娠・出産・授乳について、アレルギー・その他お体で心配なことについて事前に申告してください。申告がない場合、当院では一切の責任を負いかねます。また、施術部位の近くに異物が入っている方は、合併症が起こりやすく、施術をお勧めしません。何らかの合併症が起きた場合にも、当院では責任を負いかねます。

【当てはまる項目はありますか？】 ※該当があれば申告してください。

禁忌 <該当する方はお受けいただけません>

☐ 妊娠中・産後3ヶ月以内(3ヶ月以内の中絶・流産含む) ☐ がん(悪性腫瘍の未治療～治療中)

要注意 <該当する方はお受けいただけない場合があります>

☐ 授乳中 ☐ 心疾患 ☐ 自己免疫疾患 ☐ 膠原病 ☐ 糖尿病 ☐ てんかん ☐ アトピー ☐ ケロイド体質

☐ ヘルペス(部位:)

☐ 施術部位の手術2ヶ月以内 ☐ 施術部位の2週間以内の注射

☐ 知覚障害(部位:) ☐ 感染症()

☐ 現病歴() ☐ 既往歴()

☐ 内服・外用薬() ☐ 薬物アレルギー()

☐ レチノール配合化粧品 ☐ ハイドロキノン配合化粧品

☐ 3日以内のワクチン接種

▶PRP・PRFとは？

PRPとは、多血小板血漿と呼ばれていて、血小板を濃縮したものを指しています。血液1mm³当りに10万～40万個含まれる血小板は、血管が損傷したとき損傷した場所に集まって止血をするのですが、その際に多量の成長因子を放出します。この成長因子には、組織修復のプロセスを開始する働きがあります。

PRFとは、多血小板繊維素と呼ばれていて、抗凝固剤を使用せず、低速遠心分離により「フィブリン(血液を固める網目)」を形成します。その網目に成長因子が閉じ込められ、7～10日間かけて徐々に放出(徐放性)されるため、より持続的な再生が期待できます。

本治療は、患者さま自身の血液から抽出されたPRP・PRFを、再び自身の皮膚に注入することで、自らの持つ創傷治癒機能を活用し、細胞レベルでの肌の若返りを図ることを目的とした治療です。PRP・PRFからは様々な成長因子が放出され、コラーゲンやヒアルロン酸の産生が増加し、小じわ(鼻唇溝、額、眉間・鼻根)・目の下や頬部のくぼみ・たるみ・ほうれい線の改善やニキビ跡の治療、老化した肌の細胞の修復(再生)、肌のテクスチャー改善、創傷治癒促進などが期待できます。

■主な成長因子とその働き

- ・血小板由来成長因子(PDGF-AA, PDGF-AB, PDGF-BB)
→細胞の複製を刺激します。血管形成・上皮形成・肉芽組織形成を促進します。
- ・形質転換成長因子(TGF- β 1, TGF- β 2)
→細胞外マトリックス形成を促進します。骨細胞の代謝を調節します。
- ・血管内皮成長因子(VEGF)
→血管形成を促進します。
- ・線維芽細胞増殖因子(FGF)
→内皮細胞および線維芽細胞の増殖を促進します。血管形成を刺激します。

■効果

肌質改善:ハリ、ツヤ、弾力の向上、キメの改善。

エイジングケア:目元の小ジワ、ちりめんジワ、首のシワの軽減。

凹凸改善:ニキビ跡(クレーター)、目の下のクマ(影クマ・青クマ)。

組織再生:傷跡の修復促進、ボリューム低下の緩和。

※ご自身の血液を使用するため体調や年齢などに左右され、場合によっては安定した効果が出にくいことがあります。(治療効果・効果の持続期間には個人差があります)

■治療の流れ

採血 ⇒ 自家PRP製造 ⇒ 施術

- 1) 採血:血液を採取します。
- 2) 自家PRP製造:採取した血液を遠心分離しを製造します。
- 3) 施術:対象部位に穿刺もしくは塗布し、注入していきます。



【併用するとより効果的な治療】

- ダーマペン、シルファーム、ピコフラクショナル、ハイフ、オリジオ

▶▶施術当日の注意点

- ・医療行為に伴う使用物品などで衣類が汚れてしまう場合がございますので、汚れてもよい服装でご来院ください。
- ・来院時間に遅れた場合やむなく麻酔クリームの塗布時間短縮や、施術部位の制限、施術をお断りすることがあります。
- ・酒気を帯びている場合施術をお断りすることがあります。
- ・貴金属・貴重品は持参しないでください。（指輪は外してきてください。）
- ・ご持参いただいた薬剤(麻酔など)の使用はできません。
- ・傷痕や外傷、麻痺部、ケロイド箇所などは避けて施術することがあります。（色素沈着や凹凸があるため）
- ・施術中に担当医・看護師以外のスタッフが入室する場合があります。
- ・メイクを落としていただく可能性があります。

治療開始後の不可抗力事象の発生について

血液からPRP抽出にあたり、抽出に使用する機器や物品などの予期せぬ破損や不具合の発生、血液の性状によりPRPが抽出できない事象が起こる可能性があります。その他予期せぬ事態が起こる可能性もあります。その場合、担当医師の判断にて最善の方法で対応にあたりますので、ご安心ください。

▶▶使用している麻酔について(オプション)

表面麻酔 主に、注入・レーザーなどの施術に適しています。

- 患部とその周囲に麻酔クリームまたは麻酔テープをつけて、**【鎮痛】**をします。
- こんな副作用が起きることがあります。
・接触性皮膚炎（赤み、かゆみ、蕁麻疹など） ・表皮剥離、刺激感、熱感 など

▶▶予約について

- ・施術について、事前にLINE、電話、メールまたはクリニックにて予約をお取りください。
- ・医療行為を行っているため、予約時間どおりにご案内できないことがあります。
- ・予約時間に遅れた場合、施術を行えないことがありますので、お時間に余裕をもってお越しください。
- ・使用機器の故障や不具合により、やむを得ず予約の変更をお願いすることがあります。
- 予約変更・キャンセル
・予約の変更・キャンセルのご連絡は、LINE、電話、メールまたはクリニックへお電話ください。
・予約の変更・キャンセルの期日は予約日の前日の18時までにご連絡ください。

▶▶施術後の一般的な経過

- 個人差はございますが、針穴や注入による膨隆は数日で目立たなくなります。
- 注射針による内出血・注入部分に発赤・腫れ・痛み・つっぱり感・熱感・硬結を生じる事があります。
これらは1～2週間程続くことがあります。瘢痕化した場合は長期に及ぶ場合もあります。

▶▶このような症状が起きることがあります

※施術後に以下の症状もしくは施術に起因すると考えられる症状がみられ、
医師が治療を必要と判断した場合、治療の必要性を説明、同意のうえ適切な治療を行います。

- 稀にアレルギー・感染・痺れ・倦怠感・頭痛・筋肉痛・蕁麻疹・痒み・むくみ・発熱・咳・冷や汗・胸痛・アナフィラキシーショック・呼吸困難・左右の非対称・刺入部の陥没などを生じることがあります。
- 採血時にごくまれに神経を痛めることがあります。医師が適切な治療を施します。
- 万が一、このような症状が生じた際は当院へご連絡ください。
- 使用する医療機器等の破損・分解により、部品あるいは部品の一部が体内に残存する可能性があり、摘出する為の処置を行うことがあります。

施術後、何か気になることやご心配なことがありましたら、当院へご連絡ください。当院での
施術部位について、他院でご相談や施術を受けた場合、当該部位について当院で対応す
ることが出来なくなることがあります。

▶▶アフターケア

- ・施術部位は、こすったり刺激しない様注意してください。
- ・血行がよくなる事(エステやサウナ、入浴、激しいスポーツ、大量の飲酒等)は当日はお控え下さい。副作用が出やすくなります。腫れ、痛み等ある場合は、消失後から可能です。

洗顔フォーム メイク落とし	当日から可	化粧水・乳液	当日から可
メイク	翌日から可	シャワー	当日から可
施術部位のマッサージ	1週間後から可	通院間隔	1, 2か月